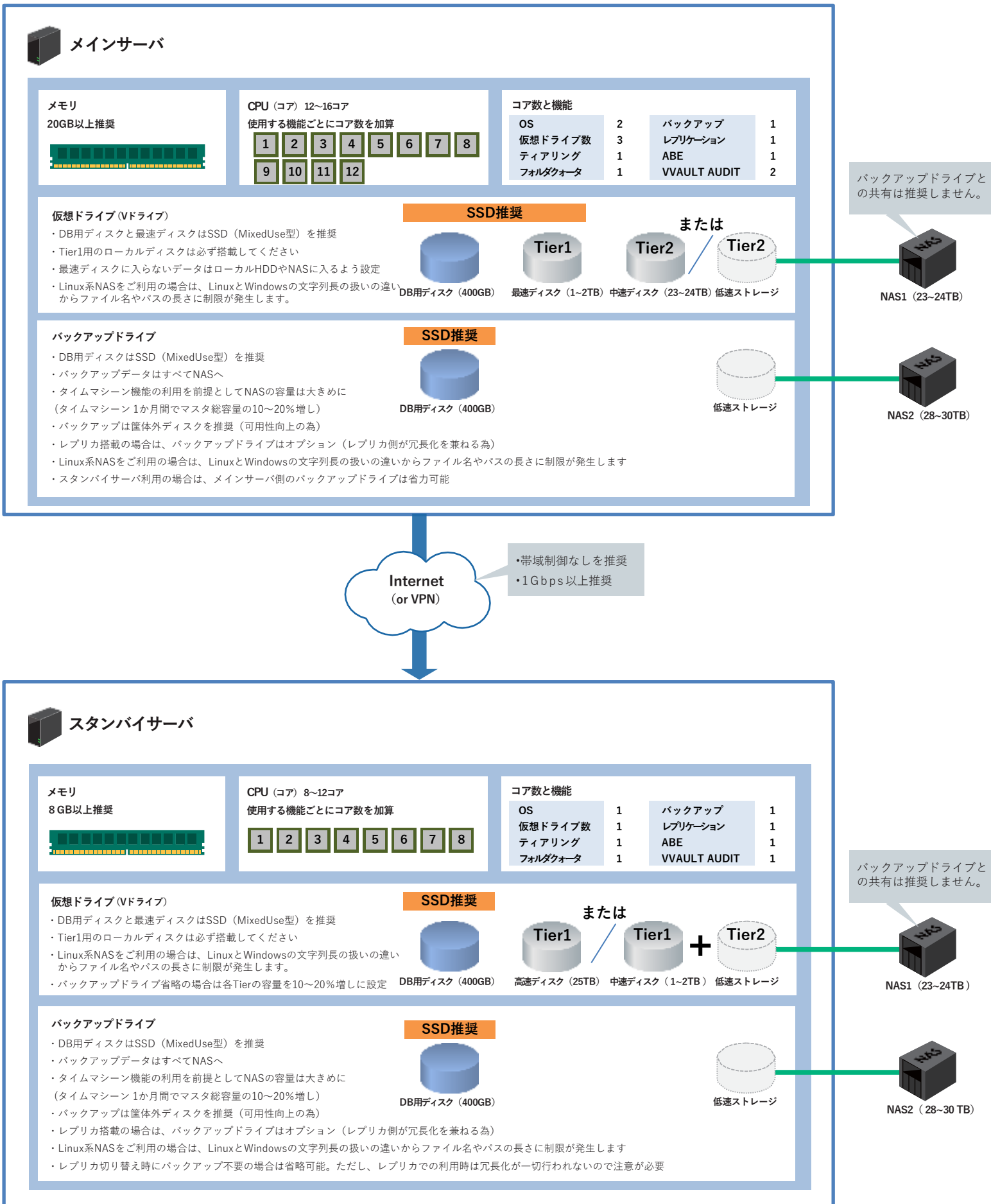


例 2 : オンプレミス / 500ユーザー / 25TB / 5000万ファイル / HA・バックアップ機能使用



**Internet (or VPN)**

- 帯域制御なしを推奨
- 1Gbps以上推奨

## 例2：オンプレミス / 500ユーザー / 25TB / 5000万ファイル / HA・バックアップ機能使用

### 構成全体 (利用想定)

- 最大500ユーザーまで、全体容量25TB程度、総計5000万ファイルを想定
- レプリケーション (HA機能) 使用を想定
- メインサーバ、スタンバイサーバ共にオンプレミスを想定  
例) マスターを本社、レプリカを支社 or DCに配置
- バックアップ、タイムマシーン機能 (31日分のアーカイブ保持) 使用を想定

### ネットワーク関係

#### メインサーバ・スタンバイサーバ間

- 1Gbps (全二重) 以上を推奨、帯域制限なしを推奨

#### 各サーバ・NAS間

- 仮想ドライブ (共有フォルダ) へのアクセスを妨げないよう、各サーバとNAS間は専用NW (裏LAN) を組むことを推奨

### メインサーバ

#### CPU

- 全機能を使用する場合、12コア以上を推奨
- クロックは2.5GHz程度、HyperThreadingの使用は推奨しない
- 個別にコア数を調整する場合は、以下を参考にして算出

※500名程度の場合の機能別推奨コア数

OS	2	バックアップ	1	クラウドストレージ	1
仮想ドライブ数	3	レプリケーション	1	TMS	1
ティアリング	1	ABE	1		
フォルダクォータ	1	VVAULT AUDIT	2		

#### メモリ

- 推奨は20GB 以上
- 必須は12GB

#### 仮想ドライブ

##### [ディスク周りHW全般]

- RAIDカードはライトバック (ライトキャッシュ) 機能を有するものを推奨
- 各ディスクのRAIDレベルは1、5、6のいずれかを推奨

##### [データベース用ディスク]

- 400GB以上、サーバ内蔵SSD (Mixed Use型) を推奨 (もしくはSAS接続HDD)
- 他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [最速ディスク]

- 1TB以上、サーバ内蔵SSDを推奨 (もしくはSAS接続HDD)
- 他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [低速ストレージ]

- 内蔵ディスク (SATA接続HDD) やNASの使用を想定、容量は実容量5TB
- 速度および安定性のため、NASへは専用NWでの接続とすることを推奨

#### バックアップドライブ

##### [データベース用ディスク]

- 400GB以上、サーバ内蔵SSD (Mixed Use型) を推奨 (もしくはSAS接続HDD)
- 他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [低速ストレージ]

- バックアップはすべてNASに入れることを想定、容量は実容量28TB以上
- タイムマシーン機能 (アーカイブ) 31日分を想定し、マスタードライブの10%以上大きめの容量とする。ファイルの追加・更新が頻繁な場合、およびアーカイブの保存期間が長い場合はこれ以上のサイズが必要な可能性あり

### スタンバイサーバ

#### CPU

- HAでの切り替えを前提として、メインサーバと同じ8コア以上を推奨
- HAでの切り替え後の運用を想定せず、個別にコア数を調整する場合は以下を参考にして算出

※500名程度の場合の機能別推奨コア数

OS	1	バックアップ	1
仮想ドライブ数	1	ABE	1
ティアリング	1	VVAULT AUDIT	1
フォルダクォータ	1	クラウドストレージ	1

#### メモリ

- CPU同様、メインサーバと同じ8GBとすることを推奨。必須は4GB

#### レプリカドライブ

##### [ディスク周りHW全般]

- HAを想定し、メインサーバと同一スペックとすることを推奨

##### [データベース用ディスク]

- 400GB以上、サーバ内蔵SSD (Mixed Use型) を推奨 (もしくはSAS接続HDD)
- 他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [最速ディスク]

- 1TB以上、サーバ内蔵SSDを推奨 (もしくはSAS接続HDD)
- 他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [低速ストレージ]

- 内蔵ディスク (SATA接続HDD) やNASの使用を想定、容量は実容量5TB
- 速度および安定性のため、NASへは専用NWでの接続とすることを推奨

#### バックアップドライブ

##### [データベース用ディスク]

- 400GB以上、サーバ内蔵SSD (Mixed Use型) を推奨 (もしくはSAS接続HDD)
- 他のディスクと共用せず、専用パーティションとすることを推奨

##### [低速ストレージ]

- バックアップはすべてNASに入れることを想定、容量は実容量6TB以上
- タイムマシーン機能 (アーカイブ) 31日分を想定し、マスタードライブの10%以上大きめの容量とする。ファイルの追加・更新が頻繁な場合、およびアーカイブの保存期間が長い場合はこれ以上のサイズが必要な可能性あり

### その他

#### 低速ストレージ用NAS

- 仮想ドライブ、バックアップドライブ間での共用は行わないこと
- メインサーバ、スタンバイサーバ間での共用は行わないこと

※ クラウド基盤や仮想基盤においては、オンプレ比で性能が著しく異なることがあります。本資料のCPUやディスクはオンプレベースの推奨値です。  
※ 本資料は想定構成での稼働を保证するものではありません。実際の利用環境構築にあたっては、実情に合わせた調整が必要となります。予めご了承ください。